

公表:令和6年4月26日

事業所名 放課後等デイサービス  
(四天王寺悲田院児童発達支援センター)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見など	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%	0%		人数が多い場合は、広い部屋にて話をする等、場所を変更する工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%		活動エリアごとに1名配置して見守りをしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%		建物の構造上、段差を取り除けない場所もあるが、注意喚起を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%		人事評価においても、PDCAサイクルを活用し、定着化している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%		アンケート結果を事業メンバーにて確認をして、改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%		ホームページ上にて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%		第三者委員は設置している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%		午前の時間に、オンライン研修を活用している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		アセスメント結果を事業メンバーにて共有し、支援計画に盛り込んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%		共通のアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%		毎月プログラム開始を実施し、意見を出し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%		各月独自のイベントを導入している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%		活動時間に応じて、長く取り組めるプログラムを入れ込む等の工夫をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		自由時間、設定プログラム時間と、日々組み合わせで個別・集団活動を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%		毎朝、ミーティングを行い、活動の流れや役割分担を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%		送迎終了後に、確認をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%		児童に対する支援の活動記録を、日々行っており、目標に沿った活動が出来ているか確認をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		半年に一度モニタリングを実施、ニーズを確認している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%	0%		事業メンバーに、基本に則った流れを説明を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者、指導員、相談支援専門員等が参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	75%	25%	0%	学校からの情報共有があれば行いが、現状ではプログラム共有までは至っていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%	0%	0%	現在、医療的ケア児の受入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	保護者から情報を聞き取り、追加情報を必要とされる場合には連絡をとるようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	センターと繋がりのある児童に関して、情報共有を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	児童発達支援センターと情報共有を行い、事業の住み分けを法人の中で行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	0%	送迎前に学童保育の子ども達と挨拶を交わしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	相談支援事業所を介し、全体会議の際には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	市主催の部会や、任意団体のネットワーク会議にも参加している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%	0%	0%	毎年、保護者学習会を開催している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	利用契約時や、変更内容が生じた際に書面と口頭で説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	変更が発生した場合、その都度案内を作成し説明をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	保護者学習会をする際に、交流会の機会を設定している。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	事業所内に苦情窓口を複数設置しており、第三者への相談ができるようにしている。基本は、支援スタッフが聞き取り、児発管と共有をとって対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	法人内での広報誌に、不定期に情報を発信している。活動概要は、毎月保護者に案内をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	ネットリテラシーに留意し、情報発信等を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	各児童、保護者からの困り毎を確認し、対応を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%	0%	0%	放課後ネットワークに加盟し、地域事業所と共に活動を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	マニュアル整備を行っているが、詳細周知が不十分な為、保護者向けにも発信を行う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	各月、児童と避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止委員会の設置や、虐待防止研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	事業所内の身体拘束適正化委員会と連動し、支援の在り方を検討し、契約時にも説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	アレルギーがある児童に関しては、事前に保護者から情報提供をもらい、看護師にも共有をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	多事業の内容を含め、ヒヤリハット・事故報告書を分析し、予防に努めている。